

# 小麦新品種

# 「さとのそら」

# 栽培指針

## 茨城の小麦を元気にしよう!

### 特性

- ・コムギ縞萎縮病に強い
- ・出穂期、成熟期が早い
- ・稈長が短く、倒伏に強い
- ・やや多収

「さとのそら」の生育・収量 (H21~25年産の平均)

試験地	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	収量 (kg/10a)
水戸	4.25	6.15	89	8.8	776	489
龍ヶ崎	4.17	6.40	85	8.4	721	605

注) 収量は所内坪刈りデータによる

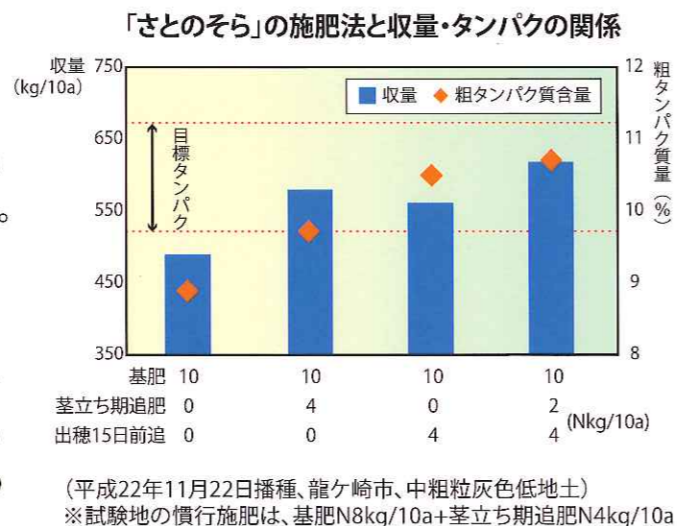
耕種概要 水戸 播種期:11月4日~8日 播種量:8kg/10a 播種様式:条間30cmドリル播  
基肥施肥量N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O:6-6-6kg/10a 無追肥  
龍ヶ崎 播種期:11月1日~11日 播種量:8kg/10a 播種様式:条間30cmドリル播  
基肥施肥量N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O:8-12-11kg/10a 追肥窒素量:4kg/10a (茎立期)

### 基肥

- ・窒素量6~7kg/10aが基本
- 地力が高すぎなければ、1.5倍(窒素量9~10kg/10a)まで増量できるが、タンパク質の増加に気をつける。

### 追肥

- ・収量向上には茎立期(適期播きで3月上~中旬頃)に窒素量2~4kg/10aを基本とする
  - ・タンパク質含量向上には、出穂15日前に追肥する
- ※目的にあわせてどちらかを選択



### 播種

- ・11月上旬~下旬とし、県北では早めに、県南・県西では遅めにする
- ・播種量は8kg/10a
- ・播種深度は2~3cm



### 麦踏み

霜による株の浮き上がり防止 莖数・穂数の増加 耐寒性・耐倒伏性向上 徒長防止

- ・年内1回、年明け2回を目標に
- 幼苗期(3~4葉期)から茎立期前までの間に行う。茎立期の目安:適期播きで、県南3月上旬、県北3月中旬土が乾いた天気の良い日に、10日程度間隔をおいて、往復踏みはしない。

### そば混入防止

そばはアレルギーの原因となるので、1粒でも混じると販売できません

- ・除草剤の散布
- 穂ばらみ期までに散布する。残ってしまったそばは、収穫前までに手取りで完全に除去する。

除草剤名	薬剤量	水量
アクチノール乳剤	100~200ml/10a	70~100l

平成25年10月1日現在

### 赤かび病防除

農産物検査時の赤かび粒の混入限度は0.0%であり、それから外れると規格外になります

- ・薬剤散布の開始時期
- 小麦:開花期(出穂後7~10日頃)  
※1回目の薬剤散布後、発病の好適条件が続く場合は、7~10日後に2回目の散布を行う。ただし、出穂期以降1回しか使用できない薬剤があるので注意する。



### 収穫・乾燥・調製

- ・適期収穫チャート(※)を用いて適期収穫につとめる(※農林61号用を参考にする。)
- ・調製網目:小麦2.3mmを使用







### その他の管理

- ・種子は毎年必ず更新し、種子消毒を行う

※農薬の使用は、ラベルの記載内容および最新の登録内容を確認のうえ使用してください。  
※農薬の使用基準を守り、飛散(ドリフト)には十分に注意してください。

高品質生産のための5つの条件「土作り」「輪作」「排水対策」「適期播種」「赤かび病防除」

# ◆ カシマゴール栽培暦 ◆

月	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月																									
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																							
麦の生育				出芽期			分けつ始期			分けつ期						茎立期			出穂期			成熟期																												
																																																		
栽培管理	播種			麦踏み									追肥			赤かび防除	収穫	乾燥	調製																															
	<p>播種適期は11月上旬です。 県央以北では、播き遅れると凍上害等の寒害による被害が大きくなりやすいので、遅くとも11月中に播種を行いましょう。</p>			<p>葉数が3枚以上になったら、麦踏みを行いましょう。 (年内1~2回)</p>			<p>年明けから茎立ち期まで1~2回以上麦踏みを行いましょう。 ※茎立期以降の麦踏みは、減収や遅れ穂を誘発します。</p>						<p>生育量が不足している場合は茎立ち期に、生育量が確保できていれば出穂期に追肥を行います。 施用量は窒素成分で2~4 kg/10aとしましょう。</p>			<p>成熟期の2~3日後、穀粒水分が30%以下になったら収穫しましょう。</p>																																		
高品質安定生産のためのポイント	<p>基肥窒素量は6~8 kg/10a 圃場の肥沃度に応じて増減させます。 カシマゴールは穂数が増えやすく、倒伏や小粒化の恐れがあるため基肥窒素量はやや控えめに。</p>			<p>麦踏みは、耐寒性の向上、凍上害の防止、分けつの促進、過繁茂の抑制、穂揃いをよくする効果があります。 土壌が乾いているときに、10日以上の間隔を空けて行う。</p>			<p>茎立期頃の追肥は、穂数等を増やし収量を向上させますが、倒伏の恐れもあります。 カシマゴールは、葉色が薄く、穂数が増えやすいので、追肥は葉色だけでなく、全体の生育量(草丈・莖数など)を見て判断。</p>						<p>そばが発生していたら茎葉処理剤を適期に散布しそば除去を徹底。</p>			<p>出穂期頃の追肥は、千粒重・粗タンパク質含量の向上に効果的。</p>			<p>出穂期3日後頃(開花を確認した時)に、赤かび病防除を実施。</p>			<p>乾燥穀温は40℃以下、仕上げ水分は12.5%以下とし、調製篩目は2.2mmを使用。</p>																												
	<p><b>播種前の準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌酸度がpH5.5~6.0となるように土壌改良資材を散布しましょう。</li> <li>・リン酸やカリ等も県の土壌改善基準を満たすように施用しましょう。 ※特に、<b>黒ボク土等の火山灰土壌</b>ではリン酸が不足しがちですので、注意してください。</li> <li>・転換畑では<b>排水対策</b>(明渠の施工等)を必ず行いましょう。</li> </ul>			<p><b>播種期と10aあたり播種量(kg)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">10月</th> <th colspan="3">11月</th> </tr> <tr> <th>上</th><th>中</th><th>下</th> <th>上</th><th>中</th><th>下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>4~6</td> <td>6</td><td></td><td>8~10</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>早播き</td> <td>適期</td><td></td><td>遅播き</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td>やや</td> </tr> </tbody> </table>									10月			11月			上	中	下	上	中	下			4~6	6		8~10			早播き	適期		遅播き						やや	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子は、毎年必ず更新し、種子消毒をしっかりと行いましょう。</li> <li>・適期播種と適正な播種量・播種深度(2~3cm)を遵守しましょう。 ※早播きでは生育過剰による倒伏や小粒化を、遅播きや深播きでは穂数不足を起こしやすく、収量・品質が低下します。 やむを得ず適期外に播種する場合には、左表の播種量を参考にしてください。</li> <li>※「カシマゴール」は「カシマムギ」に比べて、穂数が増えやすく、子実の形状も細長いのが特徴です。 粒を充実させ、タンパクを向上させる<b>出穂期追肥</b>を励行しましょう。麦茶用のカシマゴールは、高タンパク(10.5%以上)が求められています。</li> <li>・除草剤・農薬を使用する際には、必ずラベルを確認し、正しく使用してください。また、薬剤散布は周辺への飛散に十分注意して行ってください。</li> </ul>							
10月			11月																																															
上	中	下	上	中	下																																													
		4~6	6		8~10																																													
		早播き	適期		遅播き																																													
					やや																																													